

村松地区 村政懇談会

日 時：平成 25 年 6 月 27 日（木） 午後 7 時から 9 時まで

場 所：村松コミュニティセンター 多目的ホール

出席者：村執行部（村長，副村長，教育長，総務部長，総合政策部長，福祉部長，
経済環境部長，建設水道部長，教育次長，議会事務局長）

事務局（課長，副参事，自治推進課職員 4 名） 計 16 名

地区自治会長（照沼豪（照沼区自治会長））

自治会長（宿区，照沼区，川根区，原子力機構箕輪区） 計 4 名

一般社団法人自治会連合会（田所理事（村松地区推薦），事務局長，事務局
職員 1 名） 計 3 名

参加者：宿区 19 名，照沼区 8 名，川根区 7 名，原子力機構箕輪区 1 名，

その他 47 名 計 82 名

報道関係：読売新聞社，インディペンデント・ウェブ・ジャーナル

司会進行：宿区自治会長

《次第》

1. 開会
2. 出席者紹介（自治会長及び村執行部）
3. 地区自治会長あいさつ
4. 村長あいさつ並びに村政に関する説明
5. 行政からの説明
 防災対策の推進について（村からの説明）
6. 「行政からの説明」についての質問
7. 地区自治会からの事前質問・要望に関する回答
8. 「地区自治会からの事前質問・要望に関する回答」についての質問
9. 自由質問

《記録》

【6. 「行政からの説明」についての質問】

照沼区住民：防災計画について意見。防災計画は各戸配布にはならないか。コミセンで閲覧したが，膨大な資料なので，すべて閲覧は難しい。要点をまとめて書いて配布してほしい。また，HP にも掲載されているのか。

経済環境部長：各戸配布については，量的に多いため現在は考えていないが，希望があれば用意する。HP は閲覧できるようになっているので見られる方は見ていただきたい。要約版は検討する。

【8. 自由質問】

舟石川中丸区住民：参議院選挙と村長選挙が控えているが，個人的にはまた村長に出ていただきたい。投票の集計についてだが，開票ソフトを使っているのか。集計方法

村松地区 村政懇談会

と開票後のチェック方法を説明していただきたい。

総務部長：総合体育館を会場に集計作業を実施している。職員が手作業で開票し、選別機で集計している。選別後は立会人にチェックしてもらっている。

舟石川中丸区住民：ソフト等は使っていないのか。

総務部長：バーコードで集計している。補足だが、今回の参議院選から、投票時間が18時までとなった。期日前投票は20時まで実施する。

照沼区住民：国道245号線からひたちなかの北幹線道路にグリーンベルトがある。ゴミが多く捨てられており、クリーン作戦を実施したが、車が1台投棄されている。警察には連絡したが動きがない。行政から警察にプッシュしてほしい。所有者も分かっている。

経済環境部長：放置車両ということで現地を確認する。大宮土木事務所の管轄なので、大宮土木事務所と調整して解決に向けて進めていく。

照沼区住民：副村長に伺いたい。ひたちなかの後背地区について、以前村政懇談会で質問したが、進捗状況を教えていただきたい。これは県やひたちなか市も関わる広域的な問題で、総合計画を見たら平成27年度に実施すると記載してある。

副村長：平成23年の村政懇談会で回答している。やると言ったが、2年経過している。正直動いていないので早急に対応する。地域の方にも入ってもらって、一緒に検討して進めていきたいと考えている。

照沼区住民：平成27年度実施と書いてあるが、何をどうするのか。残り1年半しかないが。

副村長：北線を挟んで南と北では状況が違うので、まずは役場内でたたき台を政策推進課を中心につくり、自治会長と相談しながら具体的に進めていく。

照沼区住民：照沼小学校について。新設され4月から子どもたちが通っている。地域としてもうれしい限りであるが、子どもの数が少ない。今後どうなってしまうのか。村内において、村松地区は子どもが少ない方だと思うが、地域活性化には子どもも大きく関わる。推移は今後どうなるのか。対策等を聞きたい。

教育次長：推移については、照沼小を建設したときに計算した。若干下がりぎみだが現状のまま推移していくと考えている。建設時には、長砂地区の子どもを迎え入れることも検討した経緯がある。

教育長：照沼小は村内で学力トップ。今年はスタディーサポーターが2名つき、学力の高い学校づくりを目指している。また、認定子ども園が開設されるが、すばらしい幼児教育施設になる。幼稚園でもない、保育所でもない、新しい形の幼児施設。子ども視点で施設や活動を考えていくので様子を見てほしい。

照沼区住民：それはすばらしいことだが、地元としてはもっと子どもが増えて2クラス分ぐらいになればと思う。また、若い家族が増える方策があればいいなと思っている。

村松地区 村政懇談会

教育長：震災をきっかけに村小と交流している。人を増やすのは難しい問題だが活性化は考えている。

宿区住民：教育長に質問。学校・児童・学力ほめてもらってうれしい。人数が少ないからこそ地域の人にも協力してやっている。運動会の時に車で行こうと考えたが、進入禁止でどこに止めようかと考えた。行事のときに車で行けないのは難儀。学校に行く足が遠くなる。年寄りのために何とか対策を考えてほしい。駐車場の確保を考えているのか。

教育次長：話を聞いて大変だということが分かった。駐車場として借りた場所があるということで、後でその場所と地権者を教えていただきたい。前向きに検討する。

照沼区住民：デマンドタクシーのあり方について。パチンコに行くにも利用している人がいるようだ。迎えの分も予約しているので、その間に必要としている人が利用できないでいる。規制等について考えてほしい。市街地の隣接病院等への利用についても考えてほしい。また、交通手段があまりないため、コミュニティバスについても検討してほしい。

総合政策部長：デマンドタクシーは福祉目的で導入したものだ。平成9年から福祉循環バスがあって、それをデマンド交通に変えていった。基本は福祉利用してほしい。東海村は村外から来る人が多く、駅からはタクシーしかないのだから何とか対処してくれと言われている。バスは茨城交通に運行を要望したが、利用状況が少なく、希望時間に運行することは受け入れられない状況。国道245号の渋滞により時間通りの運行ができるかという課題もあるので、新たな交通システムを考えなくてはならないと考えている。245号の拡幅と併せて検討していく。デマンドだけでは足りないと言われているので、村としても公共交通機関については力を入れていく。隣接市街地への利用については、現在契約しているタクシー業者は、村外に出られない状況。問題意識はあるので広域で利用できるよう、新たな対策を考えたい。パチンコの利用は初耳だが、台数を増やして、断り件数を極力少なくしている。運行委員会があるのでそこで問題提起させていただく。

連合会理事：J-PARC 事故について村長へ伺いたい。宿への説明会が遅いと感じている。J-PARC の建設にあたり、宿区がどれだけ時間や労力を費やしてきたかは村長はご存知のはず。対応の遅さに裏切られたと思っている。地域住民の安全を第一に考えて焦点をあててほしい。2点目は、今日のNHKに村長が出ていた。村長の品格のない言葉遣いが気になった。発言については子どもに与える影響等配慮してほしい。また、今回の原電の対応については、説明がなかったということにお怒りだと思っているが、説明があったら聞くのか、その点についてもお伺いしたい。

村長：J-PARC 建設は、JCO 臨界事故後ということもあり、当初、宿区は拒否反応を示していた。その中で、説明会を通して何とか了解してもらった経緯がある。ところが今回想定外の事故が起こり、村としても、国よりも後に、県、村への報告になって

村松地区 村政懇談会

しまったことを抗議した。村としては、すぐに立ち入り調査や、広報とうかい6月10号で状況報告をした。住民への説明が遅れたことについても、地元の声をJ-PARC側に伝え、嚴重注意したい。品格については、何の言葉か教えてもらわないと答えられない。説明があったら聞くのかという問いは、もちろん受ける。今までもそうしてきている。

連合会理事：今回の事故は、安全文化（セーフティカルチャー）の面で、入ってはいけない文化が入ってしまったと感じている。研究者の放射能汚染に対する理解が乏しいのであれば、そのような研究者は出て行ってもらいたいと思ってしまう。東海村の安全文化（セーフティカルチャー）が損なわれたという感想。

照沼区住民：国道245号線拡幅の件。6号線も含めて日立市とひたちなか市は2車線だが東海村は1車線。渋滞してしまう。住民がもっと問題提起すればいいのかもしれないが、ひとつ検討をお願いしたい。

副村長：拡幅については、国、県には強く要望しているが引き続き要望していく。

原子力機構真砂寮住民：村政懇談会の存在を今日始めて知った。真砂寮の行政区はどこなのか。おそらく回覧版も来ていない。真砂寮には人が多くいるのでどうか見捨てないでほしい。また、地域活性化では交流人口の拡大が各地でうたわれている。その点について村としての施策は考えているのか。

総合政策部長：村のコミュニティは自治会を通じている。加入率は約55パーセント。なぜ低いかというと、多くのアパートや寮の方が、自治会に加入する術がないということ。現在この課題については自治会連合会でも検討されている。システムを今後考えていく。また、広報とうかいは全戸配布なので届いていると思う。重要お知らせは広報とうかいを通して掲載している。HPもあるのでぜひ活用していただきたい。外国人の方にはEメールサービスを一斉配信している。登録制なので近くに外国人の方がいたら声をかけていただきたい。交流人口の拡大については、村内の歴史ある施設や文化をガイドがボランティアで案内してくれる。観光協会が中心やっているのもぜひ参加して、東海村を知っていただきたい。

照沼区住民：村主催の事業とNPO等への委託事業があると思うが、今後福祉事業の方向性として、村主体でやっていくのか、民間委託していくのか。地区社会福祉協議会の健康食事会とNPOの楽々茶の間があるが、そのすみ分けについて今後どう考えているのか。

福祉部長：NPOも社会福祉協議会も仲良くやっていただきたいと考えている。住民の方の選択肢が増えるよう進めていきたい

照沼区住民：地区名の変更について。真崎は世帯数が多くなっているのでも、住居表示を「村松」ではなく「真崎」にしてはどうか。村松の広範囲をどうにかしてほしい。

村長：まったく同感である。地番は変えられないが、住居表示は変えられる可能性がある。検討する。

以上